



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2015-2016年度 第27週報 No. 1916 2016年(平成28年) 1月22日 第1916回 例会記録 2月5日発行

本日〈2月5日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆ 献立 若鶏の赤ワイン煮
- ◆ 卓話 「加齢と眼」

眼科医 田辺由紀夫 様
(紹介者 西山 潔 会員)

〈本日のBGM〉
アルバム「栄光のグレン・ミラー・オーケストラ」より



PHOTO 小池将夫会員

司会 小山 市康 副幹事

点鐘 江森 国一 会長

斉唱 「それこそロータリー」

四つのテスト 山本 芳弘 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介

南保 芳徳 様 (ゲストスピーカー)
木村 泰善 様 (横浜南RC)

誕生日祝 白井 康夫 会員 (2月1日)

結婚記念日祝 角田 伯雄 会員 (1月28日)

入会記念日祝 田口健太郎 会員 (2月4日)



2015-2016年度 RI会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン



世界へのプレゼントになろう

第2590地区 ガバナー 箕田 敏彦

会 長 江 森 国 一	会 計 渡 邊 淳
会長エレクト 植 田 清 司	副 会 計 白 井 康 夫
副 会 長 矢 野 修 二	S A A 長 井 章
副 会 長 加 藤 仁 昭	副 S A A 白 鳥 厚 夫
幹 事 朝 日 達 夫	副 S A A 澁 谷 高 弘
副 幹 事 小 山 市 康	クラブ会報 田 中 龍 太 郎

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

会長報告

江森 国一 会長

- ・1月度定例理事会報告
- ・地区より、2016-17年度R I テーマ決定のお知らせが来ておりますので回覧します。
- ・神奈川県小学校音楽フェスティバル協賛のお礼状が来ておりますので回覧します。

幹事報告

朝日 達夫 幹事

- ・本日、例会終了後に職業奉仕によるクラブフォーラムを開催致します。大勢の参加をお願い致します。
- ・次週1月29日は1月25日(月)神奈川RCとの合同賀詞交歓会に移動例会となります。お間違えのないよう宜しくお願い致します。

出席報告

会員総数	52名	(31+21)名	
出席会員数	37名	(21+16)名	
出席率	78.72%		
ゲスト	2名	ビジター	0名
前回補正後	91.67%	前々回補正後	93.88%

スマイルボックス

長井 章 SAA

横浜南RC 木村泰善様 よろしくお願ひします。卓話者をお連れ致しました。

角田伯雄君 結婚記念日祝いをありがとうございます。風邪をひきました。21日現在、39度の熱です。

江森国一君 1月31日(日)開催のB-SKY FES 2016に、会員、ご家族の参加、よろしくお願ひ致します。

西山 潔君 南保様、本日の卓話、お願ひ致します。楽しみにしております。

山本芳弘君 本日、例会終了後に職業奉仕のクラブフォーラムです。皆様、ご参加の程、よろしくお願ひ致します。

植田清司君 先日の次年度理事・役員のご会合にご出席の皆様、大変ご苦勞様でした。ありがとうございました。

佐藤勝彦君 南保さん、木村さん、オーストラリアから遠路はるばるありがとうございます。卓話、楽しみにしています。

中野真理さん 本日、早退させて頂きます。申し訳ございません。

長井 章君 本日、クラブフォーラム所用につき欠席させて頂きます。

1月22日	9件	23,000円
本年度累計		1,241,913円

「サーバント リーダー」

ゴールドコースト日本人会 会長 南保 芳徳 様

(紹介者 佐藤 勝彦 会員)



サーバント・リーダー、奉仕するリーダーとはまず奉仕したい、奉仕することが第一だという自然な感情から始まります。それから、意識的な選択が働き、多くの人を導きたいと思う様になります。「奉仕」と「導き」という概念を持ち合わせている公正さ、正直さ、人を敬う気持ち、献身さを備えているリーダーのことです。

サーバントリーダーは道徳的権限、つまり良心を持っています。ここで四つの特徴を上げましょう。

1：道徳的権限または良心の本質は、「犠牲」です。

自分自身のエゴを犠牲にしても、より高い目的や大義を目指すことです。私達の生活の4つの側面に現れると思います。

- * 肉体的、経済的犠牲 (身体:BODY)
- * 好奇心に満ちた心を育て、偏見をなくすこと (良心:MIND)
- * 他人に深い尊敬の念と愛を示す事 (敬愛:LOVE)
- * より大きな利益の為に、自分の意志をより高い意志に服従させる (精神:SPIRIT)

2：良心によって、我々は身を捧げるに足る大義の一部になろうという気にさせられる。

ナチス収容所にヴィクトール・フランク博士という人が幽閉されていました。彼は収容所内で自問しました。最初は「私に必要なものは何だろう」、それから博士は質問をかえました。「私が必要とされているものは何だろう」、彼は心の内にある、ひそやかで小さな声の良心に耳をかたむけました。彼は良心に耳を傾けてから収容所内で多くの人達に希望をあたえました。「欲しいものは何だろう」から「必要とされているものは何だろう」に変えると、良心の扉が開かれ、我々もその影響を受けられるようになるでしょう。

3：目的と手段は切り離せないということが、良心からわかる。

イタリアの政治思想家イマヌエル・カントはこう教えました。「目的を達成する為に使った手段は、目的と同じくらい重要である」

ガンジーは、私達を破滅させる7つのものを説きました。

- 1－労働なき富
- 2－良心なき快樂
- 3－人格なき学識
- 4－道徳なきビジネス
- 5－人間性なき科学
- 6－献身なき信仰
- 7－理念なき政治

間違ったやり方で達成されれば、すばらしい目的であっても、結局は手の内チリと化することになってしまいます。

4：良心によって、人と人が結びつく世界へ導かれる。

私達の良心により、私達の独立した状態から、お互いに頼り合う状態が生まれます。共通のビジョンがあれば、自然に規律や秩序が生まれます。良心は「なぜ」を教えて、ビジョンは私達が「何」を成し遂げようとしているのかを明らかにし、規律は、「どうやって」達成しようとしているかを示します。そして情熱（パッション）が、「なぜ」「何」「どうやって」の背後にある感情の強さを表します。良心は、情熱を、互いの情熱、すなわち思いやりにも変えてくれます。

サーバント・リーダーとして次のような質問を自分にする事は重要です。

- 「奉仕されている人々は、人間として成長しているか」
- 「奉仕される事で、彼等はより健康になり、より賢くて自由で、自立した存在となって、自分自身もサーバントに近い存在になっているだろうか」
- 「社会の中で最も権力のない人々に与える影響はどのようになっているのか」
- 「彼等は恩恵を受けているか。少なくとも、これ以上何かを奪われるような目に遭わないだろうか」

職業奉仕クラブフォーラム開催

テーマ「会員の職業詳細の理解」

1月22日（金）例会終了後に職業奉仕による第3回クラブフォーラムが開催されました。



ロータリーニュース

パキスタンのポリオ予防接種センターでの爆弾攻撃をロータリーが強く非難

ポリオ撲滅に取り組むロータリー会員とそのパートナー組織は、1月13日にパキスタン、クエッタで起きた悲惨な爆弾攻撃の犠牲となられた方々に、深く追悼の意を表します。この攻撃で、警備にあっていた警官ら少なくとも15人が命を落とされました。

ポリオ予防接種センターの外で起きたこの悲惨な事件は、ロータリーと世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）のパートナー組織、そして、ポリオという恐ろしい病から子どもを守るために前線で活動する勇気ある人びとが直面する危険を、改めて認識させるものです。詳しくは今後の捜査に委ねられますが、一つ明らかなのは、亡くなられた警官たちが、ポリオ予防接種の従事者を警護するためにそこにいたということです。

野生型ポリオウイルスの常在国は現在、パキスタンを含む2カ国のみですが、固い決意で予防接種キャンペーンを続けているパキスタン政府に、私たちは心より賛意を表します。

犠牲となられた勇敢な警官たちに敬意を表し、心からご冥福をお祈りします。しかし、30年に及ぶポリオ撲滅活動への私たちの決意は、決して揺るぎません。今回の事件の恐ろしさを認識しつつ、今後もポリオ撲滅の大切さについて家族に伝え続け、ポリオワクチンの安全性への信頼を築き、予防接種キャンペーンへの支援を地域や宗教のリーダーたちに呼びかけていきます。

今、「ポリオのない世界」の実現にかつてないほど近づいています。パキスタンでは、2014年と比べてポリオ症例数が80%以上減少し、大きな進展が見られています。2016年中に同国で感染を食い止めるには、すべての子どもにワクチンを投与しなければならず、そのためには予防接種従事者の安全の確保が不可欠となります。

今日、ポリオ撲滅キャンペーンに対してロータリーが提供した350万ドルの補助金は、勇気ある何千人という方々がたずさわるポリオ撲滅活動の完遂に対する、私たちの決意の証です。この取り組みにおいてこれまで犠牲になった方々を、私たちは決して忘れません。

ロータリー財団100周年を祝う 管理委員長が次期ガバナーを鼓舞

ロータリー財団のレイ・クリンギンスミス管理委員長は19日、米国サンディエゴで開催中の国際協議会で次年度ガバナーに向けて講演し、財団の100周年となる2016-17年度に祝賀行事を開催するよう呼びかけました。

ガバナーは「財団と世界34,000のロータリークラブの橋渡し役」と管理委員長。「100周年祝賀行事の成功は皆さんの手にかかっています。この特別な年度に思いを寄せ、財団の達成を祝うことの重要性を会員に伝えてください」と述べました。

1917年の創設以来、世界中の何百万という人びとの生活をより良くするために30億ドル以上を提供してきたロータリー財団の100周年は、5月の韓国での国際大会に正式に開始となり、2017年のアトランタ国際大会でクライマックスを迎えます。

地区での取り組み

第5100地区（米国オレゴン州）ガバナーエレクトのトム・ジェームス・マルコスさんは、地区内の会員に100周年について伝えるとともに、地元メディアを通じて情報を発信していく計画を立てています。ロータリーの歴史の節目となる年度にガバナーを務めることを誇りに感じていると言うマルコスさん。「一般の人にロータリー財団のこれまでの功績を知ってもらう必要がある」とし、次年度には地区で100万ドルの寄付目標を掲げています。100周年は、財団活動の重要性を会員にあらためて伝え、さらに積極的に活動してもらう機会であると話すのは、第7080地区（カナダ、オンタリオ州）ガバナーエレクトのビル・プロクターさんです。「財団が成し遂げてきた多くの功績を祝う100周年行事によって、財団の未来に向けた勢いが増すでしょう」

【ロータリー財団100周年】

創立100周年を迎えるロータリー財団

財団創設から100年となる2016-17年度は、盛大な祝賀の1年となります。ソウルで開かれる2016年ロータリー国際大会を皮切りに、2017年アトランタ国際大会で祝賀がピークを迎えます。ロータリー財団100年の節目を皆さんも一緒に祝いましょう。

100周年に向けて活動やイベントを計画し、祝賀ムードを高めていきましょう。以下はそのためのアイデアです。

- ・ロータリーと財団に対する認識と理解を深めるために、地元地域で「ロータリーデー」のイベントを実施する
- ・クラブや地区が実施している財団補助金プロジェクトについて地元の人びとに紹介する。活動の様子をソーシャルメディアで、ハッシュタグ「#TRF100」を付けて紹介する
- ・100歳の節目を迎えた財団へのプレゼントとして特別寄付をし、もっと多くの「よいこと」を支援する
- ・プロジェクトを実施するために財団の補助金を申請する
- ・2016年5月28日～6月1日にソウルで開かれるロータリー国際大会に出席する

ロータリーニュース

【2016-17年度 会長】

ジョン F. ジャーム

2016-17年度会長

Chattanooga ロータリークラブ所属
米国（テネシー州）



エンジニアリングのコンサルティング会社、Campbell and Associates 社の理事兼 CEO。同社に入社前は空軍に4年間在籍。

Public Education Foundation と Orange Grove Center の理事及び執行委員、Blood Assurance の理事長、Chattanooga State Technical Community College Foundation の創設者および財務長、Tennessee Jaycee 財団の会長。

1970年に「Tennessee Young Man of the Year」賞、1986年に「Engineer of the Year」賞、1992年に「Volunteer Fundraiser of the Year」賞、2009年に「Tennessee Community Organizations Volunteer of the Year」賞を受賞。そのほか、「Boy Scouts Silver Beaver Award」賞と「Arthritis Foundation Circle of Hope Award」賞を受賞し、2013年に米政府より「Champion of Change」として表彰される。

1976年にロータリー入会。以来、R I 副会長、理事、財団管理委員と副管理委員長、財団管理委員長エイド、ロータリー2億ドルのチャレンジ委員長、R I 理事会執行委員、R I 会長エイド、規定審議会代表議員および議長、会員増強ゾーンコーディネーター、多数の委員会委員長、エリアコーディネーター、R I 研修リーダー、地区ガバナーを歴任。

R I 超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞。ジュディ夫人とともに財団のベネファクターおよびアーチ・克蘭フ・ソサエティ会員。お二人には、4人のお子さんと6人のお孫さんがいます。

【2016-17年度 R I テーマ】

<日本語> 人類に奉仕するロータリー



ジョン F. ジャーム国際ロータリー会長エレクトは、2016-17年度のテーマとして「人類に奉仕するロータリー」を選びました。社会貢献への熱意をもつ職業人が集うロータリー独自の力を生かせば、大きな目標も達成できる、とするジャーム会長エレクト。

「世界でもっと大きな『よいこと』をする推進力となるために、固い決意でポリオ撲滅を成し遂げ、ロータリーをさらに前進させながら、これまでの成功をバネに飛躍する時が来たのです」と述べています。

次回〈2月12日〉の予定

テーマ 「百歳人研究と長寿人類学」

中国貴州大学特聘教授 全 京秀 様

（紹介者 米山学友 副会長 李 徳雨 様）